

第65期
報 告 書

2019.4.1~2020.3.31

山一電機株式会社

証券コード：6941

■ グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにベターコネクション」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

1. 人の尊重

人を育て、人を活かし、会社の発展と個人の幸せの共有を目指します。

2. 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。

3. 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である優れた製品品質と企業品質を提供することによって、顧客の満足を図ります。

4. 技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を提供します。

5. 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、社会から信頼される企業であり続けます。

経営方針（第63期～第65期）

— 「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長する —

成長戦略

技術力の強化によるグローバルニッチTOP製品の創出

- 伸びる地域・伸びる市場・元気な顧客・儲かる製品
- ユニークな製品、差別化した製品の開発

テストソリューション事業

- 新技術開発による販売拡大
- 新市場・新規顧客開拓による販売拡大
- グローバル連携強化による顧客サービスの向上

コネクタソリューション事業

- グローバルニッチTOP製品の創出
- IoTを視野に入れて通信・車載・産機・医療の4市場向け製品の拡充

光関連事業

- 顧客の開発段階からのソリューション提案力強化
- 戦略的な新規開拓活動推進

構造改革

グループの効率化を更に追求

- グローバル管理体制の強化
- グローバルのモノづくりの効率化推進
- グローバルシステムの強化

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。2019年度（第65期・2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業概況をお届けし、ご報告申し上げます。



代表取締役社長

太田 佳孝

当連結会計年度における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱、中東における地政学リスクの高まり等により全世界的に景気の先行きに不透明感が続いている中で、年明けから拡大した新型コロナウイルス感染症に伴い景気は急速に悪化しました。今後の情勢につきましても、感染症が収束し、経済活動が正常化する見通しは不透明であり、不確実性の高い状況が続くと予想されます。

このような状況の下、当社グループは3カ年中期経営計画（2018年3月期～2020年3月期）に基づき、「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを引き続き目指し、「グローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から、「成長戦略」と「構造改革」を戦略の核に取り組み、経営基盤の強化と収益の拡大を図ってまいりましたが、第4四半期における新型コロナウイルス感染症の拡大は、中国でのサプライチェーンや、フィリピンの生産拠点での操業に影響を及ぼし、売上高に影響がでました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高 27,008

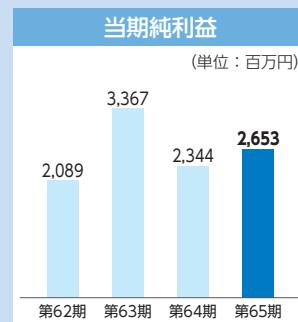
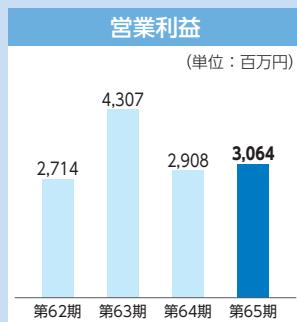
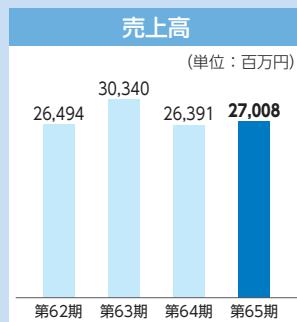
百万円（前年同期比 2.3%増）、営業利益3,064百万円（前年同期比 5.4%増）、経常利益 3,080百万円（前年同期比 8.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 2,653百万円（前年同期比 13.2%増）となりました。

2021年3月期の見通しは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全世界的に経済活動の更なる減速が懸念され、厳しい状況が続くと見込まれます。そのため、現時点において適正かつ合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想が可能となった段階で、速やかに開示させていただきます。

また、次期中期経営計画（2021年3月期～2023年3月期）の策定を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点において適正かつ合理的な計画の策定が困難となったことから一時休止しております。策定を再開し開示の準備が整いましたら、速やかに開示させていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

■ 連結業績ハイライト



テストソリューション事業

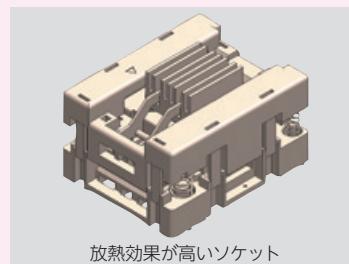
検査用ICソケット、プローブカード、FPC検査用ソケット、半導体テストサービス

売上高構成比
44.0%



放熱効果が高いソケットを開発

先進運転支援システム（ADAS）で使われる半導体はセンシングの結果から車間距離を保つ、ブレーキをかける等、高度な演算能力を持っています。演算時に自己発熱が多い製品があり、テスト時には放熱させる性能が検査用ソケットに求められます。当社では長年にわたり蓄積した技術で、放熱用フィンの形状等、放熱性能を高めたソケットを開発しました。今後もお客様のニーズにお応えする技術開発に取り組み、最適なテストソリューションを提供してまいります。



放熱効果が高いソケット

コネクタソリューション事業

コネクタ、実装用ICソケット、フレキシブルプリント配線板（YFLEX®）

売上高構成比
51.5%



車載カメラモジュール向け小型同軸コネクタを開発

先進運転支援システム（ADAS）から自動運転へと自動車は、安全や制御、情報収集に至る様々な用途のカメラが搭載され、デジタル化や高性能化も進み車載カメラの搭載数は市場の本格化が一層加速し増加が見込まれます。この背景からコネクタにおいては、搭載数の増加に伴う省スペース化が求められています。当社は、車載カメラモジュール向けに業界最小サイズの小型同軸コネクタ「HC001シリーズ」を開発いたしました。今後もアイテムの幅を広げていき、市場ニーズにお応えする製品開発を進めてまいります。



車載カメラモジュール用コネクタ（HC001）

光関連事業

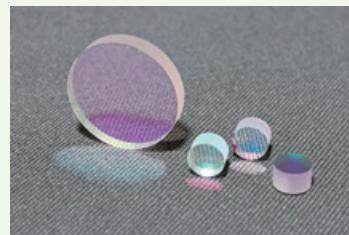
RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源

売上高構成比
4.5%



リアルタイムPCR検査装置用マルチバンドパスフィルタを開発

PCR、CRP、PCT等の臨床現場即時検査(POCT: Point of Care Testing)装置は、インフルエンザなどの感染症の診断に欠かせない機器になっています。人口の多い新興国向けの検査装置では、検査コスト低減のため検査時間の削減は必須事項になっています。光関連部門では独自の超多層膜形成技術を応用し、リアルタイムで診断できるPCR検査装置を実現する低損失、高減衰量マルチバンドパスフィルタを開発いたしました。

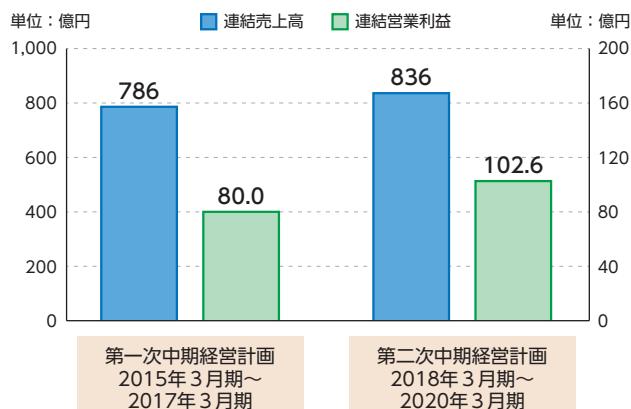


リアルタイムPCR検査装置用マルチバンドパスフィルタ

中期経営計画(2018年3月期～2020年3月期)のご報告 「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長する

… 中期経営計画の結果 …

前中期経営計画との結果比



「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを経営方針とし、「グローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から、「成長戦略」と「構造改革」を戦略の核に取り組み、経営基盤の強化と収益の拡大を図ってまいりました。

当中期経営計画期間が2020年3月31日にて終了しましたので、結果をご報告いたします。

また、次期中期経営計画(2021年3月期～2023年3月期)の策定を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点において適正かつ合理的な計画の策定が困難となったことから一時休止しております。策定を再開し開示の準備が整いましたら、速やかに開示させていただきます。

◇ 基本戦略

I. 成長戦略：グローバルニッチTOP製品の創出

- ・伸びる地域・伸びる市場・元気な顧客・儲かる製品
- ・ユニークな製品、差別化した製品の開発

II. 構造改革：グループの効率化を更に追求

- ・グローバル管理体制の強化
- ・グローバルのモノづくりの効率化推進
- ・グローバルシステムの強化

2017～2019年度 目標/実績

売上	853億円 ⇒ 836億円 (98%)
営業利益	102億円 ⇒ 102.6億円 (101%)

2014～2016年度 対比

売上	786億円 ⇒ 836億円 (106%)
営業利益	80.0億円 ⇒ 102.6億円 (128%)

中期計画目標/実績 (指標)

	目標値	2017年度	2018年度	2019年度
ROE	10.0%以上	16.7%	10.6%	11.8%
配当性向	30.0%以上	23.1%	30.4%	30.9%
設備投資	70.0億円 (3カ年)	20.3億円	18.4億円	20.9億円

連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 (2020年3月31日現在)	前期 (2019年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	18,954	17,628
現金及び預金	9,259	8,318
受取手形及び売掛金	4,909	4,486
たな卸資産	3,579	3,675
その他	1,205	1,148
固定資産	12,939	11,679
有形固定資産	11,382	9,873
無形固定資産	132	147
投資その他の資産	1,424	1,657
繰延資産	-	0
資産合計	31,893	29,308
負債の部		
流動負債	6,696	6,082
支払手形及び買掛金	1,484	1,284
短期借入金	2,723	2,889
その他	2,488	1,908
固定負債	1,842	938
長期借入金	250	549
その他	1,592	388
負債合計	8,539	7,020
純資産の部		
株主資本	24,035	22,653
資本金	10,084	10,084
資本剰余金	1,775	1,793
利益剰余金	14,360	12,403
自己株式	△ 2,183	△ 1,627
その他の包括利益累計額	△ 979	△ 602
新株予約権	181	116
非支配株主持分	116	119
純資産合計	23,354	22,288
負債純資産合計	31,893	29,308

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	前期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	27,008	26,391
売上原価	17,648	17,467
売上総利益	9,359	8,924
販売費及び一般管理費	6,295	6,016
営業利益	3,064	2,908
営業外収益	129	113
営業外費用	113	191
経常利益	3,080	2,830
特別利益	127	366
特別損失	19	-
税金等調整前当期純利益	3,187	3,196
法人税、住民税及び事業税	633	633
法人税等調整額	△ 102	215
当期純利益	2,656	2,347
非支配株主に帰属する当期純利益	3	3
親会社株主に帰属する当期純利益	2,653	2,344

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	前期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,682	4,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,495	△ 1,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,086	△ 2,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 160	94
現金及び現金同等物の増減額	940	1,129
現金及び現金同等物の期首残高	8,318	7,188
現金及び現金同等物の期末残高	9,259	8,318

会社概要

会社の概要 (2020年3月31日現在)

商号	山一電機株式会社
所在地	東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
設立	1956年11月
資本金	100億8,410万円
従業員数	364名 (連結 1,767名)
主な事業内容	1. テストソリューション事業 2. コネクタソリューション事業 3. 光関連事業

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	23,329,775株
株主数	5,338名
単元株式数	100株
大株主	

株主名	持株数	持株比率
	株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,914,900	22.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,355,100	10.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	823,300	3.84
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIN/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	680,000	3.17
RE FUND 116-CLIENT AC	577,300	2.69
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	552,400	2.58
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	447,057	2.08
日本生命保険相互会社	421,075	1.96
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	420,700	1.96
山一電機従業員持株会	378,688	1.76

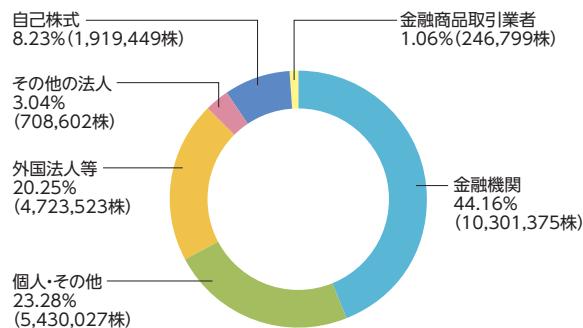
(注) 1. 当社は、自己株式を1,919,449株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式1,919,449株を控除して計算しております。

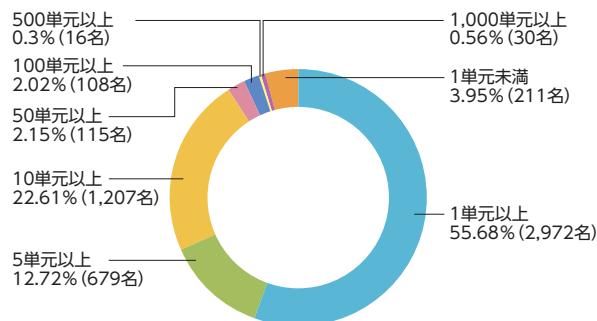
役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役社長	太田 佳孝	常勤監査役	加藤 勝市
取締役	亀谷 淳一	社外監査役	岡本 忍
取締役	土屋 武	社外監査役	村瀬 孝子
取締役	松田 一弘		
取締役	岸村 伸洋		
社外取締役	村田 朋博		
社外取締役	佐久間 陽一郎		
社外取締役	依田 稔久		

所有者別株式数分布状況 (2020年3月31日現在)



所有株数別株主数分布状況 (2020年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部：証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRサイトのご案内

当社では、Web上で「投資家情報」として次のような情報を公開しています。今後も、「株主のみなさまへ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

Web上で
ご覧いただける
投資家情報

- IRカレンダー
- 有価証券報告書
- 決算短信
- 株主総会
- 株主のみなさまへ
- 株主優待制度

<http://www.yamaichi.co.jp/ir/tabid/87/Default.aspx>

山一電機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
☎03-3734-0115 (代表) ☎03-3734-0120
ホームページアドレス <http://www.yamaichi.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **6941**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wim.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)

アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を差し上げさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media (イー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2media) についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ MAIL: info@e-kabunushi.com
「e-株主リサーチ事務局」